

自然保育推進事業 活動報告書

1 団体名

尾道市立木ノ庄東幼稚園

2 令和3年度の活動概要

(1) 環境構成について

本園は尾道市北部に位置し、棚田に囲まれたのどかな環境である。しかし、少人数運営当時の園舎と隣接した小学校跡地を活用しているため、幼児が遊べる自然環境が少ない。昨年度の課題として園内の樹木等の自然物を増やすことを挙げていたが、予算・時間共に確保が難しかったため、本園の強みである冬の寒さを活用した遊びの展開と地域の自然体験フィールド探しについて重点的に取組を行った。

(2) 遊びの事例

【氷・雪あそび】



『冬場は毎日氷の実験』



『雪をかぶって全身で冷たさを味わう』



【氷レストラン】



「料理もカチカチ！なんでも氷になるんじゃね」



「氷パフェ」

【アイススケート（オリンピックごっこ）】



「回るジャンプやってみる！」



「ぎゃーつるつる～」

【園外探検】

- ・定期的に同じ場所を散策することで変化を感じ取る



「フキノトウって伸びるんじゃないね」

- ・園内とは違う動植物との出会いが生まれる。



「はじめてガエル」

「このバッタでっかい！」

「こけサンド」

【新しいフィールド】

- ・保護者からの情報提供や地域の方のご協力を受けながら、畑や使っていない田んぼ、庭先などを活用させていただいた。



(3) その他

【今後に向けて】

- ・昨年度に引き続き、実のなる木を中心に植栽を検討する。
- ・園舎南側の園庭に野花がない。自生する植物が出てくるよう整える。
- ・地域と連携して活用できるフィールドを広げる取組を進める。